# 【表紙】

| | |
|---|---|
| 【提出書類】 | 臨時報告書 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成24年５月10日 |
| 【会社名】 | オリンパス株式会社 |
| 【英訳名】 | OLYMPUS CORPORATION |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長執行役員　笹 宏行 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都渋谷区幡ヶ谷２丁目43番２号 |
| 【電話番号】 | 東京3340局2111番（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 総務部長　新本 政秀 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都新宿区西新宿２丁目３番１号 新宿モノリス |
| 【電話番号】 | 東京3340局2111番（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 経理部長　大西 伸幸 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所<br>（東京都中央区日本橋兜町２番１号） |

## 1【提出理由】

当社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生しましたので、金融商品取引法第24条の５第４項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第２項第12号及び第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

## 2【報告内容】

１．減損損失

（１）当該事象の発生年月日

平成24年５月10日（取締役会決議日）

（２）当該事象の内容

国内生産拠点の合理化等に伴い、資産等を厳格に再評価した結果、当該資産等について減損損失を計上いたしました。

（３）当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

当該事象により、平成24年３月期（自：平成23年４月１日 至：平成24年３月31日）の連結決算において、約158億円、個別決算において約12億円の特別損失を計上いたしました。

２．事業再構築損

（１）当該事象の発生年月日

平成24年５月10日（取締役会決議日）

（２）当該事象の内容

その他事業におけるシステム関連事業の資産を厳格に評価した結果、事業再構築損を計上いたしました。

（３）当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

当該事象により、平成24年３月期（自：平成23年４月１日 至：平成24年３月31日）の連結決算において、約34億円の特別損失を計上いたしました。

３．事業整理損失引当金繰入額

（１）当該事象の発生年月日

平成24年５月10日（取締役会決議日）

（２）当該事象の内容

当社国内連結子会社３社の解散の方針を決定したことや、海外生産拠点の合理化等により、事業整理損失引当金繰入額を計上いたしました。

（３）当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

当該事象により、平成24年３月期（自：平成23年４月１日 至：平成24年３月31日）の連結決算において、約32億円、個別決算において約16億円の特別損失を計上いたしました。

**４．関係会社株式評価損**

**（１）当該事象の発生年月日**

**平成24年５月10日（取締役会決議日）**

**（２）当該事象の内容**

**連結子会社の運営する事業の採算性を厳格に評価した結果、関係会社株式評価損を計上いたしました。**

**（３）当該事象の損益及び連結損益に与える影響額**

**当該事象により、平成24年３月期（自：平成23年４月１日 至：平成24年３月31日）の個別決算において、約51億円の特別損失を計上いたしました。**

**５．繰延税金資産の一部取崩し**

**（１）当該事象の発生年月日**

**平成24年５月10日（取締役会決議日）**

**（２）当該事象の内容**

**繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、繰延税金資産の一部を取崩すことといたしました。**

**（３）当該事象の損益及び連結損益に与える影響額**

**当該事象により、平成24年３月期（自：平成23年４月１日 至：平成24年３月31日）の連結決算において、約221億円の税金費用を計上しました。また、個別決算においては約107億円の税金費用を計上いたしました。**

**以 上**